



WEEKLY REPORT No.1305

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



第1530回例会

会員増強・

新クラブ結成推進月間

SPEAK OUT DAY

平成27年8月6日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 57名

48名中39名出席

出席率 81・25%

前々回出席率 92・00%

例会プログラム

★14-15年度

★派遣青少年交換学生帰国報告

★川畑青少年奉仕委員長

★受入青少年交換学生到着口案内

★堀江地区国際奉仕副委員長

★第1回地区国際奉仕委員会報告

★吉田明夫職業奉仕副委員長

★第3回WFFチケット購入案内

★吉田憲一親睦活動委員長

・誕生日のお祝い

★SPEAK OUT DAY

「ロータリーソング」

「君が代」「四つのアスト」

指揮者 岡村 隆徳

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

14-15年度派遣青少年交換学生

伊藤 彩香さん

「ニコボックス」

伊藤彩香さんお帰りなさい。帰国報告楽しみにしています。

田崎 雅三・酒井 修

伊藤彩香さんお帰りなさい。

高木 政義・鬼頭 茂成

伊藤彩香さんお帰りなさい。

これからも名古屋大須ロータリークラブをよろこぶね!! 春日井和良

伊藤彩香さんお帰りなさい!

林 順治

誕生日です。感謝、感謝、フクの日

29日に85才になります。今後もよろこしく御願ひ申し上げます。

小野 定男

誕生日です。

堀江 英弥・丹下 富博

杉本 忠夫・東滝 卓也

妻の誕生日です。明日、世界平和フェローの澤屋泰津子さんの壮行会です。よろしく願ひします。

吉田 隆彦

女房の誕生日です。

柴岡 正将

妻の誕生日です。

松本 哲朗

ガラケーから 아이폰 に替えて大パニックです。年寄りには絶対替えてはいけません。

尾上 昇

書いて日が続きます。1日愛ください。

岡村 隆徳

会長挨拶

会長 田崎 雅三

皆さんこんにちは。連日あまりの暑さ、いかがお過ごしでしょうか。

さて、ほぼ毎日「今日は何の日」といっ物が存在しますが、今日8月の日はまずもって広島平和記念日ですが、日本放送協会(NHK)



設立の日でもあります。(1926年。

民放NHKとも昔から視聴率競争はあるのですが、これまでの

関東地区における最高視聴率は「Jテオリサーチ」が視聴率調査を開始した1962年12月3日以降では、1963年12月31日のNHK総合テレビ第14回NHK

紅白歌合戦で記録した数値がトップで81・4%。司会は江利チエミさん・宮田 輝さんでした。瞬間最高視聴率は五月みどりさん歌唱時の85・3%。北島三郎さんが初出場、紅組のトリは美空ひばりさん、白組のトリは三波春夫さんでした。

ちなみに2014年の「第65回NHK紅白歌合戦」の視聴率38・75%(1・2部平均)。ゴールデンで15%を超えると成功と言われる現在では、ちよっと考えられない視聴率ですね。

我々は今日も平和で美味しい東急ホテルの昼ご飯を食へられる事に感謝したいと思います。

ありがとうございます。

派遣青少年交換学生帰国報告
14-15年度派遣青少年交換学生 伊藤 彩香

派遣先RC: 第5080地区 Rotary Club of Duluth

アメリカ ダルース市



こんにちは。2014-2015年ロータリー青少年交換学生としてアメリカミネソタ州ダルース市に派遣していただいた帰国生の伊藤彩香です。今日は私のダルースでの留学生活、経験したこと、成長できたことなどについてお話ししたいと思います。

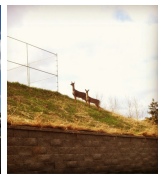
ダルースの紹介

最初に私が1年間ステイさせていただいた町ダルースについてお話ししたいと思います。

ダルース市はアメリカの五大湖の中で最大の湖、スペリオール湖の最西端に位置する町です。淡水湖としては世界最大の面積を誇り、だいたいの北海道と同じ位の大きさです。人口は85,000人で名古屋市の26分の1の規模の小さい市ですが、日本の千葉県いすみ市と姉妹都市提携を結んでいて、日本の庭園があったり、と日本に対する興味が大い町でもあります。

気候は夏は20℃前後の本当に過

暑い町です。



こしやすい気候で、名古屋の夏に慣れていた私は最初の頃は寒いと感じ、半そで一枚で過ごすことはできませんでした。逆に日本に帰ってきた際には飛行機を降りて最初の一言が暑い！でしたが…冬はカナダに近いというところもあり、気温はマイナス40℃にもなることもある極寒の町でした。積雪

量も多く、夏にはスベリオル湖も凍りつき湖の上を歩くこともできます。このように気候は厳しいところではありませんが、自然が本当に豊かで、町全体が美しい湖と自然とともに過ごしていることも素敵なお話だと思っています。

去年の8月18日にわくわくする気持ちと、不安に思う気持ち、その二つを抱えて日本を飛び立ちました。行きの飛行機の中ではいろいろと自分の英語力のなさを実感させられました。それでも10時間以上のフライトの末、空港に到着し、素敵なホストファミリーの皆さんに迎えていただいたときは、やっとたどり着けたという安心感で本当にいっぱい、また一人でここまでくることができたという達成感でもつれしかったです。こうして私の1年間のアメリカでの生活が始まりました。

私も2つのホストファミリーに1年間ステイさせていただきました。第一ホストはカーマイケルさんで最初の半年間お世話になりました。7歳のホストシスターと11歳のホストブラザーは本当にかわいくて、最初の頃は英語がまだしゃべれなかった私に対して、積極的に一緒に遊ぼうと誘って

MY HOST FAMILIES CARMICHAELS



れました。ホストブラザーはお料理好きな方で、私が日本食を作ると作り方を教えてほしいといわれたり、大晦日には年越しそばの代わりに一緒にラーメンを作ってみたり、そのほかにもゲーキやクッキーの焼き方を習ったり…と一緒に料理をする時間が本当に楽しくて、まだまだ料理をすることは苦手ですが、作ることも、食べることも大好きになりました。

残りの半年はマークハムさんにお世話になりました。ホストシスターが三人いたのですが、一番上の私と同じ年のホストシスターはロータリーの交換留学生としてスペインにステイしていました。彼女は私が日本に帰る数日前に帰国したのでアメリカで会うことができました。お互い最初の頃のように留学生生活とは何か想像もつかなかった頃から、1年間充実した時

間を過ごした後に会うのは本当に新鮮でした。たった数日間でしたがお互い良い時間を過ごすことができたと思います。他にも15歳と10歳のホストシスターがいて、15歳のホストシスターと一緒に高校も通い、私にとっては本当に頼もしいホストシスターでした。10歳のホストシスターは折り紙やあやとり、剣玉など日本の遊びが大好きで私に折り紙と一緒に作ろうといってくれたり、クリスマスには一緒に作った折り紙をツリーに飾りつけました。

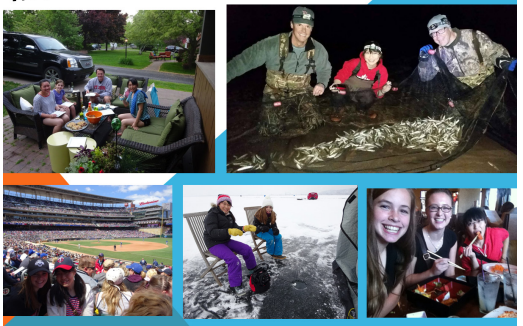
第一ホストと第二ホストファミリーは本当に仲の良い家族で、いつも一緒にご飯を食べたり、いろいろなところに行ったりとひとつの大きな家族のようでした。最初の頃は英語がうまくしゃべれない私に対してわかりやすく、ゆっくりに英語で話しかけてくれたり、それでもいろいろな話題で積極的にコミュニケーションをとって私の英語が少しでも早く上達するよう力を貸してくださいました。ハロウィンやクリスマス、その他のアメリカの祝日など、アメリカの家族でしか体験できないこともたくさん経験させていただきました。それだけではなく毎日のほんのちょっとしたこと、買い物や映画を見るなどのことが私にとってはホストファミリーと過ごせるとても楽しい大切な時間で1年間本当に充実した時間を過ごすことができました。

学校 アメリカの学校生活についてもお話したいと思います。

学校は9月1日に始まり、11年生(日本で言う高校2年生)に入りました。アメリカの高校は日本とは違つことがたくさんあり、登校初日はロッカーの鍵の開け方もわからず、クラスの場所もわからず…と一人で学校中を走り回っていました。それでもなれない英語で精一杯の自己紹介を先生方、クラスメイトにしてクラスにあたり

も励ましてくださり、私が一人でできないことはいつも手伝ってくださいました。ホストファミリーの存在が大きく、またこのホストファミリーの皆さんがいなかったら私の一年はこんなに充実したものにはならなかったと思います。素敵なホストファミリーに出会うことができて本当に良かったです。

MY HOST FAMILIES MARKHAMS



DULUTH HIGH SCHOOL

Track



Exchange students

Cross Country Ski



かく迎え入れていただくことができました。授業も宿題ももちろん全て英語で、先生やクラスメイトが何を言っているのか、何のテーマを話しているのかも理解できませんでした。

しかし、わからないものをわからないままにしておいては何も始まらないと思う、先生方、クラスメイト、ホストマザー、ホストファミリー、皆さんにたくさん質問し、毎日辞書を持ち歩いて、少しずつ、少しずつ、今日は何のテーマをやったかなど授業内容も理解できる



よくなりました。

アメリカでしか取ることでできないアメリカ史の授業をつけ、その他にも生物などの日本と内容は同じ、でも授業の仕方が少しずつ違うものまで、どの授業も楽しくとても興味深かったです。私の一番好きだった授業は美術の時間で絵を描くことが好きな私は毎日楽しく絵を書いて、先生にアドバイスをいただいたり、アートショーに出展させていただいたり、とても楽しかったです。また日本に特にアニメに興味のある子が多くいつか日本に行ってみたいという子もいてたくさんの方達を作ることができました。

アメリカの高校では学校イベントもなかなか違い、ダンスパーティーがあったり、spirit weekと呼ばれる学校のお祭りのようなもの、タレントショーなど日本では経験できないものをたくさん経験することができました。私の高校には私のほかにも留学生が10人ほどいて、みんなでよく集まって一緒に学校のイベントへ行ったり、とても楽しい時間を一緒に過ごすことができました。みな世界のほかの国から来ているので、お互いの国の話、文化の話、留学生の話など、話題が尽きることなくまた世界のほかの国についてたくさん知ることができ、そしてまだまだ知りたい！と思うことがたくさんあります。初めてのことを一緒に経験した大切な仲間です。

部活も参加し、冬にはクロスカントリースキー部に入部し、日本では体験できないことができミネソタの冬を楽しく過ごすことができました。クロスカントリーはなかなかハードなスポーツで、練習や大会が終わる頃にはいつも雪の上で汗まみれになっていました。日本ではあまりのポピュラーな競技ではないので、スキーの手入れの仕方から何から何までが初めてのことで、とても素敵な雪国の経験をすることができました。

春には陸上部に参加し、雪がとけたばかりのまだ肌寒いタルースを毎日チームメイトと楽しく走りました。最初の大会で転ぶというちょっとしたアクシデントもありましたが、シーズンの終わりにには自己ベストも出すことができました。とてもうれしかったです。

こちらの部活も私にとっては初めてで、最初はアメリカで初めてのことで、と不安なこともありましたが、毎日少しずつ友達ができ、タイムが速くなったり、できることが増えたり、少しずつ成長していくことができました。

ロータリー

次にロータリーについてお話ししたいと思います。ホストロータリークラブはDistrict 259ロータリークラブで三ヶ月に一度ほど例会に参加させていただき、5月にあった例会では私の留学生生活についての卓話をさせていただきました。

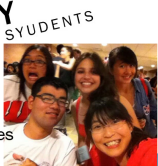
帰国前にもスピーチをさせていただき、とても暖かくお見送りをさせていただきました。またタルース市長にお会いさせていただくこともでき、名古屋市長からのお手紙をお渡しすることができました。私はセントラルステイツの5580地区に派遣させていただいたのですが、この地区はカナダも含まれていることが特徴的で、ロータリーのオリエンテーションがカナダで行われるということもありました。私の地区には14人の留学生が世界各国から来ていました。

地区のオリエンテーションは2ヶ月に1回ほどあり、毎回二泊三日ほどの楽しいオリエンテーションとなっていました。今年アメリカから他の国に派遣される留学生や、帰国してきた留学生との交流も多く、毎回本当にみんなに会うのを楽しみにしています。

7月の10日から13日までの四日間にはロータリーのセントラルステイツのオリエンテーションがあり、私のステイさせていただいたミネソタ州をはじめ、アメリカ北部の州からたくさんの方々が集まりました。1,000人以上の留学生が集まったこのオリエンテーションは本当に今まで見たことがないほどの迫力で、初めて会う子がほとんどでしたが、1年間同じ経験をしてきたということのみならず、仲良くなることができました。このオリエンテーションではたくさんの方と交流することが

ROTARY EXCHANGE STUDENTS

Central States conference



の時間もあって、この一年で何が変わったか、何を経験したか、これからの留学生たちに何かできることはあるか、帰国後何をしたいかなど、とてもいろいろなことを考える時間を与えていただき、とても良い機会だったなと思います。このセントラルステイツのオリエンテーションが私達留学生にとっては本当にお互いに会える最後の機会だったので、ディスカッションだけではなく他にもとてもたくさん楽しいイベントが行われ、本当にロータリーの留学生たちからここまでできたことと実感しました。ロータリーの留学生としてアメリカに派遣させていただきこの一年で自分を大きく変えることができましたと思います。

英語力の面では、本当に最初の頃は自分の伝えたいことはなかなか伝えることができる、でも普通に通じる話ができるという状況ではありませんでした。しかし



これは世界各国から来た留学生たちに出会った瞬間のことを知り、考えさせられました。それぞれの国がいろいろな文化を持つていて、それを知っていきくと、とても面白い。いろいろな国の言葉を少しづつ覚えていく

ホストファミリーや友達との会話、また学校の授業や宿題を通して語彙力やリスニング力を少しずつあげていくことができ、今では誰でも楽しく会話をすることができるようになりました。

英語ができない、だから話せないではなく、英語はできない。でも話そうと努力はなくてはならない、という点から、誰でも積極的に話そうとして、知らない人に話しかけるということ、また学校やロータリーのオリエンテーション、例会を通じてのスピーチ能力も上げるようになっていきます。

言葉がまったく違う世界に行っても、人とコミュニケーションをとるというところは変わりません。世界のどこでもひとつ挨拶やその国の言葉を知っていると、そして積極的に話しかければ、相手も助けてくれる、逆に誰かがそのような立場であったら今度は私が助けてあげたいと思いました。

て、その国の人であったとき、一言言ってみて通じたときのうれしさは本当に心に残りました。私が靴紐を結んでいるとき、ある他の国の留学生がどうやってその結び方をするのかと聞きましました。そこで何人かで集まって靴紐の結び方について見せ合ったところ、違った結び方をした子が何人かいました。これは特に国の違いなどは関係ありませんが、やり方は違つのに、でも結局は靴紐は結べているそこが私には面白く、とても興味深かったです。

文化の違いも同じなのではないでしょうか。文化は違つ、でも違つからこそ面白い、そして楽しい。国だけではない人それぞれが、そのような違いを持っているからこそ、会話をしている面白く、思えるのではないのでしょうか。

留学生として一番いい思い出は出会った人にお別れをしながらはいけないことだと思います。でも一番いい事もまたたくさんの人に会つたことができたという事です。ここからが本当の始まりなのかもしれません。これからは世界どこかに行っても誰か友達に会えるという素敵なことが出来るのです。一人ひとりに笑顔で、「さようなら」ではなく「また会おうねー」ということが出来ました。たくさんのお話を学び、経験し、自分を成長させ、とても楽しいことができた、素晴らしい一年でした。

このように素晴らしい貴重な経験を

験をする機会を与えてくださった名士大須ロータリークラブの皆様、地区青少年交換委員会の皆様にご本当に感謝しております。

ご清聴ありがとうございます。

地区国際奉仕委員長会報告

国際奉仕副委員長 堀江 英弥

地区国際奉仕委員長会議が7月31日に文京区フンドホテルにおいて開催されました。

まず特別出席者の加藤陽一ガバナー始め4名が紹介されました。

次に杉浦地区国際奉仕委員長会委員長の挨拶で、「今年も第3回のWFFが10月24、25日開催されます。

その余剰金の一部を含めて本年度はミャンマーで国際奉仕活動を行いますので協力下さい。また各クラブでも独自に国際奉仕活動に取り組んで下さい」との挨拶がありました。

続いてガバナーから地区方針「ロータリーの原点に学び、友情と寛容の輪を拡げよう」と地区行動指針および5月28日、6月1日に韓国で開催される国際大会への参加要請がありました。

講演に移り特定非営利活動法人社会開発機構AMDAの国内事業部 大谷聡氏から「パール・ホンシユノスやガーナなどでRの提唱する6つの重点項目に合致した世界での活動報告があり、後半は理事長 鈴木俊介氏から、「自分は財団奨学生でありロータリーに恩返

しをしたい」と言う深い思いで事業を行っている一緒になって事業をお手伝いしたい」とお話しをされました。

休憩を挟んで後半は地区補助金セミナーとして地区財団補助金委員会の櫻井委員長と高山副委員長から、主にグローバル補助金の説明と豊橋RCの実例を交えて解りやすく解説があり、より多くのクラブで使用して欲しい旨の話があり、近藤ガバナー補佐の講評で一部を終了しました。

2部は大竹地区幹事の乾杯で懇親会が開かれ、AMDAの方や補助金委員会の2名も参加して、各クラブ委員長さんの名刺交換や情報交換もされ、懇親を深めることができました。最後に加藤地区副幹事の閉会の言葉で終了しました。

その他・お知らせ

ロータリー平和フェロー・グローバル補助金奨学生

壮行会・懇親会

8月7日(金)名古屋東急ホテル3階「錦の間」にて、当地区2人目のロータリー平和フェロー 澤屋奈津子さんと並びに、グローバル補助金奨学生では、花倉由利さん(平和と紛争予防・解決)・西山毅さん(疾病予防と治療)の2名、合計3名がロータリー財団(TRF)



委員会を中心に、当クラブからはご夫人も含めて11名が参加し、奨学生を激励しました。

より承認されたことを受け、地区主催で壮行会・懇親会が開催されました。

財団関係地区役員、ロータリー財団関係者、奨学金・学友・平和フェローシップ

8月13日(木) 例会の案内
定款規定により休会

事務局夏期休暇
8月11日(火)～14日(金)

8月20日(木) 例会の案内
例会変更 同日

納涼夜間例会

於 若宮の杜 迎賓館
受付17時30分 例会18時00分

広報委員会

前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑
*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。